

## 赤い実の中からカマキリの頭が出てきた

『まっかだな まっかだな カラスウリってまっかだな』  
小学生の頃に音楽の時間で歌った文部省唱歌 『真っ赤な秋』 2番の冒頭の歌詞である。 作詞は『薩摩忠』 作曲は 『小林秀雄』である。

僕は子供の頃、この歌を歌うたびに（聞くたびに） 『からすうり って何だろう？』と思っていた。見たことが無かったからである。 初めてカラスウリを見たのは大人になって現在住んでいる街に移って来てからであった。 だから初めて実物のカラスウリを見た時にはかなり興奮したのを覚えているし、未だにカラスウリの赤い実を見つけるとなんだか嬉しくなる。

それにしても、どうして僕が生まれ育った町ではカラスウリを見なかったのだろうか？

僕の生まれ育った町は岐阜県の南部、標高300mちょっとの山間部である。 図鑑などを見ると、カラスウリは北海道を除く日本全域に分布と書かれているものもあるし、宮城県南部が北限と書かれている図鑑もある。

	年平均気温	年最低気温	年最高気温
仙台市	12.2℃	-5.6℃	34.2℃
恵那市	12.8℃	-9.2℃	35.0℃

僕が育った町は恵那市ではないが標高が近いということで恵那市のデータと仙台市とを比較した  
2005年度の平均気温は近く、僕が育った町の方が100m程標高が高いことを考えると、仙台市とほぼ同じと言える。

宮城県南部が北限とする説が正しければ、我が町にはカラスウリは無かったのかもしれない



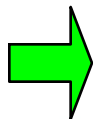
烏瓜の赤い実です



切ってみると、中には黄色い果肉に包まれた種が見えます  
黄色い果肉を舐めてみると...ほんのり甘くて、わずかに渋みが来て最後にちょっと苦い！

果肉を洗い落としてみました  
6個の種が出てきました

部屋の中に種を置いておいたら乾燥して、2日でこんな風になってしまった



黒褐色の種子はカマキリの頭部に似た五角形の特異な形状をしている。その形状はしばしば打ち出の小槌に見立てられ、また大きな耳をしたえびずや大黒天といった福の神の顔にも見立てられる。そのため財布に入れて携帯すると富みに通じる縁起物として扱われることもある。

とモノの本には書いてあったが・・・僕には、どう見ても『打ち出の小槌』には見えない！福の神にも見えない！ やはりカマキリの頭部が適当ではないかと思う。僕の知り合いでこの種を『犬』と呼んでいた人が居た